



## わたしの探究展開期

今週は3年生になって初めての探究学習がありました。

1, 2年生が探究の種まきの時期だったとしたら、3～5年生は探究の展開期にあたります。

ここまでの探究や生活の中で、「こんなことをしているときが楽しい」「こんなことをもっとやりたい」と思ったことを深掘りしたり、活動を広げていけたりするといいです。

最近聞いた話ですが、好きなことが分からない時は、名詞ではなく動詞で考えるといいです。

確かに、同じ「サッカーが好き」でも、「サッカーに勝つために作戦を考えるのが好き」と「サッカーボールを思い通りに蹴るのが好き」では、やりたいことが大きく変わる気がします。何をしている時に、一番本人が没頭し、楽しんでいるのを見取って伝えてあげると、探究をよりよく展開していけるかもしれません。

まだテーマを模索している子は、5月に探究フィールドワークに行くので、それがテーマ決めのよいきっかけになるといいですね。

また、子どもだけでなく、周りの大人も探究的に過ごすことが、子どもにとって一番の刺激になると思います。

私自身、SOLANに来て4年目なので、ばっちり探究展開期です。

私が好きなのは「自然と触れ合い、その環境を豊かにすること」なので、生き物や植物を主として活動し、それを広げている最中です。

今回は写真と共にこれまでの活動の成果を紹介していきます。家庭での探究活動の参考になれば幸いです。

こちらは先日捕まえたヒバカリというヘビです。

毒も牙もないとてもおとなしいヘビで、これまで2度ほど飼ったことがあります。

SOLANの子にも見せたいと思いながら探して3年目、ついに息子が発見して捕まえました。

現在うちで飼育中です。

餌はオタマジャクシですが・・・



うちの庭には昨年の夏に作った池と、今年の冬にとったカエルの卵からかえった大量のオタマジャクシたちがいるので、エサの確保には困りません。

家を出たら10秒でエサがとれます。

教室で飼っているオタマジャクシの兄弟たちをエサにしているので、少し胸がいたみますが、オタマジャクシは生態系を支える食糧源であることを再認識できます。



こちらは飼育しているイモリが生んだ卵です。

左の方はもうほとんどオタマジャクシになっています。

イモリの幼生（オタマジャクシ）の飼育は私も初めてなので、調べながら試しながらやっています。

イモリが、何日かに分けていくつも産卵しているのもとても興味深かったです。

こちらは生まれた子↓



イモリの幼生のエサの確保のため、近くの田んぼに言って、ミジンコをゲットしました。庭で培養を試みています。

小さすぎて非常に分かりづらいですが、右の写真の水に浮かんでいる小さな粒がミジンコです。

活発に動き回る様子がとてもかわいらしいです。

(もしミジンコが欲しくなったら、おすそ分けできるのでいつでもお声かけ下さい)





池も春になり、変化し始めました。

近くの川でとってきた草花が、目論見通り種を落とし、自然とそこかしこで発芽しています。

息子の作った守り神1号も、まるでラピュタのロボットのように草に埋もれて佇んでいます。

伸びた草の根は、エビの隠れ家になったり、メダカの産卵場所になることでしょう。

知らぬ間に、ヤゴもたくさんいました。



池で育てているヒキガエルのオタマジャクシも続々と変態しています。

ヒキガエルは在来種で最大のカエルですが、変態直後はこのように非常に小さいです。

小さすぎて飼育は非常に難しく、何度もチャレンジしましたが、いつも全滅してしまいます。

(このサイズに合う生餌を手に入れるのは非常に難しいです)

変態後に一斉に陸に上がって山の方へ向かうそうですが、一部でいいので池に残ってくれたらいいなと思っています。



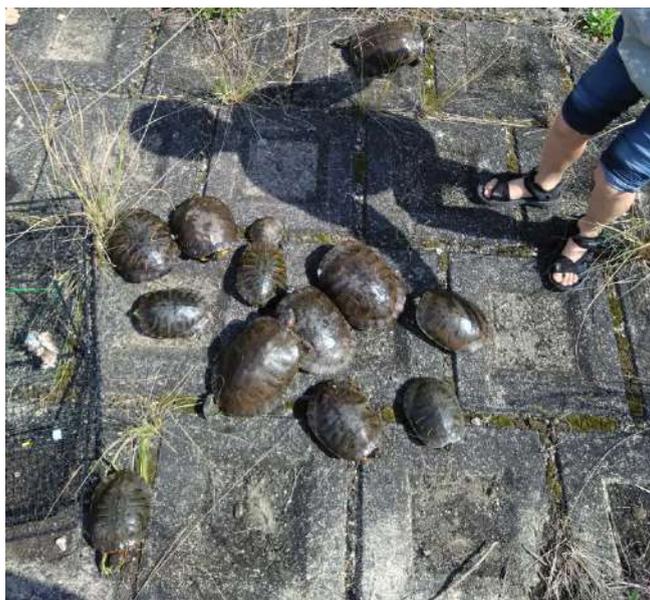
家族で生き物捕り中に、「カメを捕まえない」と言われたので、罟（左に写っている網）をしかけて捕まえました。

大量に捕れましたが、全て外来種のミシシッピアカミミガメでした。

10年前に同じ場所で捕った時は、半分以上がイシガメでしたが、年々アカミミガメが増えていきます。

アカミミガメがイシガメの生息域を奪っている様子を、経年の変化で感じ取っています。

カメ罟でカメを捕ってみたい方も、いつでもお声掛けください。(過去に一度だけ保護者の方に本当に頼まれたことがあります)





←池の横でたい肥作り中。  
春の草抜きも楽しくなります。  
プロジェクトで腐葉土作りをしたいと子どもたちも考えているので、そのためにも勉強しています。



→冬から育てていた大根。大根の花を見たい、実も食べられるらしいから食べてみたいということで、1つ収穫せずに残したら、すごく大きくなっています。  
さすがアブラナ科なので、菜の花によく似ています。



←ぬいた雑草で天然マルチに挑戦  
昨年度もやりましたが、残念ながら失敗して雑草がどんどん生えてきました。  
思っている何倍もたくさん、次々に重ねていくそうなので、今年は昨年度の失敗をいかして、天然マルチを成功させたいです。

いかがでしたでしょうか。  
私は自分がしてきたこと作ったものに囲まれることは、非常に生活を豊かにしてくれるなと感じています。  
ともすれば教育は社会で生きるために必要な実用的なことばかり注目されてしまいが、私は「人生を豊かに生きるための教育」という視点も大切だと思っています。  
3年生で活動していく探究学習が、子どもたちにとって実りの多いものになるように、そして子どもたちの生活をより豊かにするものになるように、今後も精一杯取り組んで参ります。